



令和4年10月
京都市立柏野小学校
校長 中村 茂美

学校評価特集号

第1回 学校評価へのご協力ありがとうございました

コロナ禍が続く中、今年度は、7月に第1回の学校評価を行いました。皆様からの評価とご意見を受け、教職員の自己評価の結果も含め、ここまでの課題と改善策について、ぜひ一緒に考えたい点についてお知らせします。

なお、保護者の方々への評価票は児童数で配布し、回収率は81%でした。ご協力いただきありがとうございました。児童・教職員も、それぞれに応じた項目で学校評価を実施しています。また、学校運営協議会の理事や見守り隊の皆様にも評価をお願いしています。

地域・学校・保護者が協力し合って子どもたちの成長を見守るために、それぞれの立場での子どもへの関わり方を振り返る項目になっています。

A…よくあてはまる B…どちらかといえばあてはまる C…どちらかといえばあてはまらない D…あてはまらない
「A」と「B」という評価結果の項目を、「達成している」項目と考えています。

◇保護者の方々からの評価結果

保護者		A+B %	C %	D %	無回答 %	昨年度 A+B %
学校の取り組みについて	1 学校は、教育方針や取組を学校だよりやHP、懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。	98.9%	1.1%	0.0%	0.0%	96.0%
	2 学校は、家庭・地域と連携して、一人一人の子どもを大切に学校づくりに取り組んでいる。	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	94.0%
	3 学校は、家庭・地域と連携して、子どもの教育を進めていることが保護者に伝わっている。	97.7%	1.1%	1.1%	0.0%	91.0%
	4 子どものことについて学校に気軽に相談できる。	92.0%	5.7%	1.1%	1.1%	90.0%
	5 教職員は、保護者や訪問者などにていねいに対応している。	94.3%	4.5%	0.0%	1.1%	98.0%
	6 学校は、「柏野小学校いじめ防止基本方針」のもと、子どもが安心して通える取組をしている。	93.2%	2.3%	0.0%	4.5%	90.0%
子どもについて	7 子どもは、楽しく学校へ行っている。	94.3%	4.5%	1.1%	0.0%	95.0%
	8 子どもは、学習内容が理解でき、基礎的な学力が身についている。	92.0%	5.7%	2.3%	0.0%	92.0%
	9 子どもは、日頃から体を動かすことをいとわない。(スポーツや外遊びを含む)	90.9%	6.8%	2.3%	0.0%	85.0%
	10 子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	77.3%	18.2%	4.5%	0.0%	84.0%
	11 子どもは、早寝早起き、朝ご飯や持ち物の準備など基本的な生活習慣が身についている。	86.4%	12.5%	1.1%	0.0%	91.0%
	12 子どもは、学校や友達のことについて話している。	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%	99.0%
	13 子どもは、「いじめは絶対許されないことである」ことを意識して友達と関わっている。	95.5%	2.3%	0.0%	2.3%	97.0%
	14 子どもは、自分から進んで挨拶するように、家でも挨拶をしている。	95.5%	4.5%	0.0%	0.0%	98.0%
	15 子どもは、正しい言葉遣いができている。	83.0%	15.9%	1.1%	0.0%	91.0%
	16 子どもは、学校のきまりや約束を守って生活している。	93.2%	6.8%	0.0%	0.0%	98.0%
	17 子どもは、まわりの人を大切にしている。	98.9%	1.1%	0.0%	0.0%	97.0%
	18 子どもは、将来の夢や希望について考えたり、話したりしている。	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	96.0%
	19 子どもは、何でも好き嫌いなく食べている。	64.8%	30.7%	4.5%	0.0%	91.0%
家で	「楽しく学校に通っている」 新型コロナウイルス感染症等に対する感染予防のための生活スタイルを、家庭でも行っている。	95.5%	3.4%	1.1%	0.0%	98.0%

◇子ども達からの評価結果

児童		A+B %	C %	D %	無回答 %	昨年度 A+B %
学校総体として	1 学校生活は、楽しいですか。	92.1%	6.9%	0.0%	1.0%	95.5%
	2 自分からみんなに元気よくあいさつできていますか。	83.2%	13.9%	3.0%	0.0%	80.4%
	3 友だちと仲良くできていますか。	96.0%	2.0%	1.0%	1.0%	97.3%
	4 人の話をしっかり聞くことができますか。	88.1%	11.9%	0.0%	0.0%	89.3%
	5 自分の考えや思いを友達や先生に伝えるように話していますか。	81.2%	16.8%	2.0%	0.0%	84.8%
自分自身の取組について	6 正しい言葉遣いで話していますか。	84.2%	14.9%	1.0%	0.0%	88.4%
	7 学校や学級のきまり・約束を守っていますか。	96.0%	2.0%	1.0%	1.0%	95.5%
	8 友だちからされたことで、今いやな思いをしていますか。	90.1%	6.9%	3.0%	0.0%	93.8%
	9 困ったことがあったとき、先生はよく話を聞いてくれますか。	94.1%	3.0%	3.0%	0.0%	97.3%
	10 先生と一緒に勉強はよくわかりますか。	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%	96.4%
	11 15分×学年の家庭学習ができていますか。	74.3%	19.8%	5.0%	1.0%	72.3%
	12 進んで、本をよく読んでいますか。	75.2%	15.8%	8.9%	0.0%	60.7%
	13 すずんで体を動かすこと(体育やスポーツ、外遊び)をしていますか。	89.1%	10.9%	0.0%	0.0%	83.9%
	14 宿題やもちものを忘れず自分から進んで用意できていますか。	91.1%	6.9%	1.0%	1.0%	89.3%
	15 すきらいなく、給食を食べていますか。	89.1%	9.9%	1.0%	0.0%	95.5%
	16 コロナなどの感染予防に気を付けて生活していますか。	95.0%	4.0%	1.0%	0.0%	96.4%
	17 登下校や校内で安全に気を付けて生活していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.6%
	18 おうちで、学校であったことを話していますか。	89.1%	8.9%	1.0%	1.0%	84.8%
	19 学校のいじめ対策委員会のメンバーを知っている。	81.2%	14.9%	4.0%	0.0%	-

保護者アンケートの⑩～⑱の項目について

昨年度までは、お家の方の子どもに対する働きかけについて自己評価していただきましたが、今年度は子どもの様子を評価する文言に変更しました。その結果、大きく数値が下がっているところが数か所見られました。子どもが成長するようお家で働きかけているものの、子どもはあまりできていないと捉えられるような結果となりました。その辺りについても見比べていただけたらと思います。

昨年度に比べ少し下がっていますが、子ども・保護者共に高い評価でした。地域の方に関しては、100%となっており、子ども達の様子を見ていただき、子ども達が安心して学校生活を過ごしていると感じていただいているのではないのでしょうか。また、子ども達の評価が高かった理由の一つとして「先生と一緒に勉強はよく分かりますか。」「友だちと仲良くできていますか。」の項目において評価が高かったことが要因になっているように思います。教職員と友達との関係が良好であること。また、勉強が分かることは、子どもにとって大切なことです。この点が充実することは、子ども達の楽しい学校生活につながっています。そのためにも、保護者・教職員・地域、そして子ども達が素敵な学校づくりを目指し、協力していけたらと思っています。

▼「しっかりあいさつをしている」

子どもの達成率は83.2%と昨年度より2.8%上がっていますが、他の項目に比べるとやや低い数値となっています。保護者は、昨年度同様に高い評価ではありますが、昨年度より2.5%下がっています。運営協議会の評価については10%アップしたものの77%と低い評価です。また、記述欄においても地域や保護者の方のご意見に「自ら挨拶をしてくれなくなった。」「挨拶の声が小さいのが気になるので、保護者が見本となれるように気を付けていきたい。」というお声もいただきました。教職員の中でも「登下校時の様子を見ていてもあまりできていないように感じる。」「家でもなかなかしないという声も聞きました。」など、アンケートを通して挨拶が課題となっていることがわかりました。

きっかけとして新型コロナウイルスの影響が大きいのではないかと考えます。マスクをしたまま大きな声を出すことを控えなければならない状況や行事等の縮小で地域の方との関りも以前に比べ減ったことも挨拶において大きな影響があったと思います。しかしながら、挨拶は人間関係を築くうえで大切なことです。挨拶をする意義を今一度考え、まずは私たち大人から挨拶をする姿を見本として見せていければと思います。学校でも、子ども達が意識付けできるよう、町別集会で話し合い、継続して各学級で声をかけ、また定期的なふり返しをするなどしていきたいと考えています。また、高学年を中心にすでに委員会の方でも挨拶活性化に向けた取組を進めています。大人だけでなく、子ども達自身からも挨拶の大切さを発信し、活気のある雰囲気を作っていってほしいと思います。

▼「好き嫌いなく食べている」「体を動かしている」

子ども・保護者共に評価の低かった項目です。保護者については、表面に書かせていただいたように「我が子が何でも好き嫌いなく食べるように、家でも働きかけている。」から「子どもは、何でも好き嫌いなく食べている。」とうように主語を保護者から子どもに変えました。そこから分かることとして、保護者は好き嫌いなく食べるよう働きかけているものの、子どもは好き嫌いをしななかな食べないという現状があるのではないかと感じました。保護者の方々の苦勞を感じます。学校の様子としては、好き嫌いがあるものの、食べきろうと挑戦する姿がある一方で、全体的に減らしをする様子も多いという声がありました。また、子どもが周り協力して頑張る姿もあるようです。大人でも、子どもと同じように好き嫌いがあり、なかなか克服するのは難しいことです。しかし、作ってくれる人の思いや食べ物を残すもったいなさなどにも触れながら「少しでも」という思いを育てていきたいと思っています。また、学校では月に一度給食だよりを発行したり、食に関する掲示物や給食時間に給食に関わる放送をしたりするなどして、食べることの大切さについて発信しています。お家のほうでも、一緒に給食だよりを見ながら食について話をさせていただいたり、時には一緒に買い物を行ったりするなどして、子どもが食について、また自分の健康について興味をもつきっかけを作っていただけたらと思います。

また、「体を動かしている」という項目については、子ども・保護者共に5%以上も上がっています。新型コロナウイルスの影響で、体育や部活動、遊びなど、色々な制限がありましたが、多少なりとも緩和されたことにより、遊びの幅が増えたり、これまでのような体育科の授業が進められるようになったりしたことがプラス評価になった要因であると考えられます。また、部活動も今年度は5月から始め、9月からは1年生もサッカーを始めるなど、部活動で一生懸命に体を動かす姿も見られます。一方で、広い運動場に対し、休み時間に外へ出て遊ぶ人数が少ないように感じます。もちろん、暑い時期ということが原因かもしれません。これから少しずつ涼しくなります。普段あまり体を動かすことがない子ども達も休み時間に外へ出ようと思えるように、体を使った取組を健康委員会で考えています。また、先日実施した全校体育DAYの取組を通して体を動かす楽しさについて気付くきっかけとなれば嬉しく思います。体を動かすにはエネルギーが必要です。そのためには食べる必要があります。体を動かすことと食べることをつなげて考えることも大切です。

▼「進んで本を読んでいる」

アンケート結果の数値は高くありませんが、昨年度に比べ約15%も上がっています。これまでの取組が子ども達の本を読む習慣につながっているのではないかと思います。学校では、朝学習の時間に本を読んだり、図書館に行って本を読んだりする時間を取っています。また、授業の中でも調べ学習で本を活用することもあります。子ども達も空いた時間に本を取って読むなどの習慣が身についています。また、学校でも様々な取組を実施しています。今年度もあじさい読書週間の取組や選書会、また10月にも取組が予定されており、子ども達が本と触れ合うきっかけがたくさんあります。その中で、読書の楽しさや喜びを知り、これまで以上に進んで本を読もうとする習慣を身に付け、読む力を育てていってほしいと思います。さらには、学校で身に付けた読む習慣を家庭読書にも、ぜひつなげていってほしいと思います。子どもが、今どんな本を読んでいるかを話題にしたり、一緒に図書館や本屋さんに行ったりするのも、きっと家庭読書につながる一つの方法になるかと思えます。また、時間があれば、本を読む時間を設け、家族で本を楽しむ時間を作るのもよいのではないのでしょうか。本は楽しむだけでなく、たくさんの知識を学び、また心を豊かにしてくれます。これからも読書を通して、成長していってくれることを期待しています。

ここ数年、学校現場において新型コロナウイルスの影響は大きく、行事の縮小や緩和されたものこれまでとは違う生活に対する不安や疲れ、そしてそれがいつまで続くのかというストレスも溜まっていることと思います。感染者数は減ったとしても、油断はできない毎日が続きます。その中でも、自分たちの学校をよりよくしていこうと、児童・保護者・教職員・地域がこれまで以上に協力し進めていくことが大切であると思います。今回の結果を今後の教育活動に生かし、児童のさらなる成長へとつなげていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

